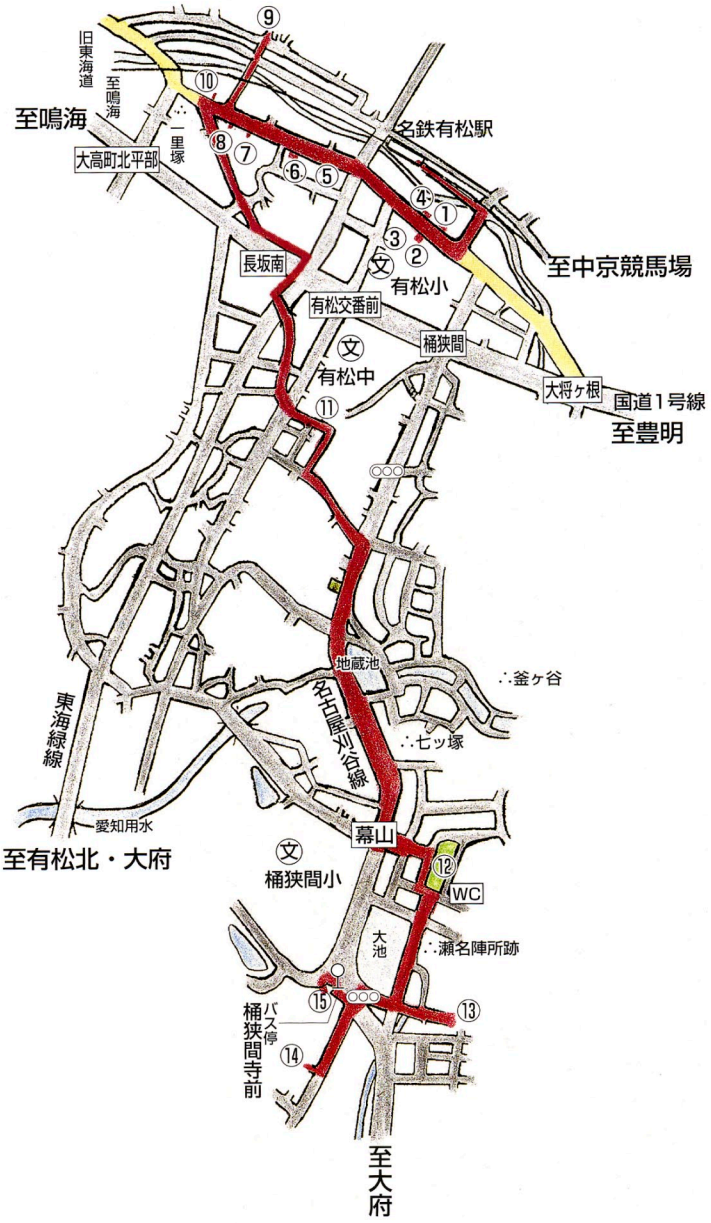
史跡散策路 有松の町並みと桶狭間古戦場コース 緑区

コース順路（全長約4.1km）

名鉄有松駅
↓ 350m
①有松山車会館
↓ 100m
②竹田庄九郎碑
↓ 30m
③有松・鳴海絞会館
↓ 20m
④服部邸
↓ 200m
⑤常夜燈
↓ 60m
⑥竹田邸
↓ 60m
⑦岡邸
↓ 30m
⑧小塚邸
↓ 150m
⑨天満社
↓ 200m
⑩祇園寺
↓ 750m
⑪有松神社
↓ 1,100m
⑫桶狭間古戦場跡(公園)
→ 250m
⑬長福寺
↑ 350m
⑭神明社
↑ 250m
⑮戦評の松
↑ 0m
市バス桶狭間寺前



コースガイド

①有松山車会館（ありまつだしかいかん）
有松には東町の「布袋車」中町の「唐子車」西町の「神功皇后車」3台の山車（昭和41年市指定文化財）がある。

②竹田庄九郎碑（たけだしょうくろうひ）
慶長13年（1608）尾張藩の奨励で、知多の英比庄から庄九郎始め8名がこの地に新しく村を開拓し、農家の副業として九州の豊後絞から、絞りの技法（九九利染）を考案した（有松絞の由来）。この功績をたたえ、昭和8年に有松絞商工同業組合が「有松絞開祖竹田庄九郎之碑」を建立。隣には、絞中興の祖鈴木金蔵翁の紀功之碑を移設した。

⑤常夜燈（じょうやとう）
※常夜燈は区画整理の関係で一時的に有松天満社にあります。

⑨天満社（てんまんしゃ）
祭神は菅原道真。江戸時代の中期創建。神廟は当初祇園寺の境内にあったが、寛政10年（1798）に現在地に移り、文化7年（1810）に神殿を建立し、文章嶺と称するようになった。境内には筆塚などがある。

⑩祇園寺（ぎおんじ）
曹洞宗、文禄年間（1592～95）の創建。当初は円道寺といい、鳴海にあったが宝永3年（1706）に猿堂寺と改称、宝暦5年（1755）現在地へ移動し祇園寺と改めた。

⑪有松神社（ありまつじんじゃ）
昭和30年に地元の人達が日清、日露、太平洋戦争で戦死した人を祀るため、新しく社殿を造った。

⑫桶狭間古戦場跡（公園）【田楽坪】（おけはざまこせんじょうあと（こうえん））【でんがくつぼ】
戦国時代に駿河、遠江、三河の三国に強大な勢力をもつ今川義元が天下統一をめざして永禄3年（1560）5月19日に京都に向って進撃するところを、織田信長が桶狭間にいる今川の本陣を奇襲し義元を討死させた戦場跡である。この地は土地区画整理事業に伴い史跡を移設し、昭和63年桶狭間古戦場公園とし整備された。桶狭間古戦場の標石、今川義元戦死之地の標石、駿公墓碣、今川義元公馬繋ぎの杜松の塚、水汲みの泉などがある。

⑬長福寺（ちょうふくじ）
浄土宗、天文7年（1538）の創建。善空南立上人の開山。この上人は桶狭間合戦のときに今川勢の労をねぎらったという。

⑭神明社（しんめいしゃ）
祭神は天照大神。桶狭間合戦のとき、今川の家臣瀬名氏俊が戦勝祈願したという。宝物に義元が水を汲んだ桶がある。

⑮戦評の松（せんぴょうのまつ）
永禄3年（1560）桶狭間合戦のとき、今川の家臣瀬名氏俊が大松の下に部将を集め、戦いの評議をしたところといわれている。昭和34年（1959）の伊勢湾台風で枯死してしまった。昭和37年（1962）に新しく植えたものであるが平成19年（2007）に枯死してしまった。

●交通ルールを守って、事故にあわないよう十分注意しましょう。